

会社概要

商号:	新潟原動機株式会社	NIIGATA POWER SYSTEMS CO., LTD.
設立:	2003年2月3日(平成15年)	
沿革:	1910年(明治43年) 株式会社新潟鐵工所創立 1919年(大正8年) 日本初の船用ディーゼルエンジンを開発 2003年(平成15年) IHIグループとして原動機事業を継承	
本社所在地:	東京都中央区八重洲2-9-7	
資本:	資本金 30億円	
社長:	馬場 五郎	
従業員数:	916名	
工場数:	4工場 (太田、新潟内燃機、新潟鑄造、新潟ガスタービン)	
支店・営業所:	16ヶ所	
海外事務所現地法人:	5ヶ所 (中国、オランダ、シンガポール、フィリピン、インドネシア)	
関係会社:	ニコ精密機器株式会社	
業績:	(右の売上高推移グラフ参照)	

主な製品:

下記製品の製造、据付、販売及びメンテナンスを
主な事業としています。

(1) ディーゼル機関

船用: 4サイクル 264 ~ 13,180kW 漁船、客船、貨物船、高速艇、作業船、
その他各種船舶用主機及び補機、遠隔操縦装置、機関監視装置

陸用: 4サイクル 132 ~ 13,768kW 発電用、ポンプ用、コンプレッサー用、
その他一般動力用機関、脱硝装置、機関監視装置

車両用: ディーゼルカー用、ディーゼル機関車用、産業車両用

(2) ガス機関

660 ~ 6,032kW ガス機関及びデュアルフューエル機関 常用・非常用発電装置

(3) ガスタービン機関

200 ~ 14,560kW 発電用、ポンプ用

(4) Z型推進装置(略称-Zペラ)

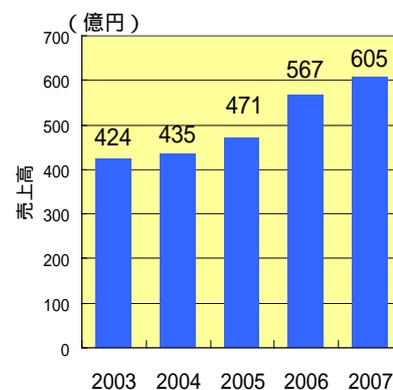
タグボート、サブライボート用

(5) 精密部品

ガイスリンガー継手及びダンパ、燃料噴射ポンプ、燃料弁

(6) 鑄造品

内燃機関及び産業機械用の鑄鉄品・特殊鑄鉄品(ノジュラ、パーミキュラ、耐熱鑄物など)



2007 年度の主な動き

- 2007 年 4 月 IHI の組織改正で新設された原動機セクターに配置され、橋本社長が原動機セクター長に就任しました。
- 2007 年 5 月 ファーストエスコ殿（新潟ニューエナジー殿）向けガスエンジン 18V28AG (5,800kW)2 台を受注し、AG シリーズ受注 100 台を突破しました。
2008 年 10 月新潟内燃機工場敷地内の発電所で稼動開始予定。
- 2007 年 7 月 舵付二重反転式ハイブリッド推進装置 ZP-41RP がマリンエンジニアリング・オブ・ザ・イヤー2006 を受賞しました。
- 2007 年 11 月 敦賀原子力発電所 1 号機の第 31 回定検工事での無事故無災害 162,674 時間達成について、原電事業（株）殿より表彰されました。
- 2007 年 12 月 IHI 横浜第 2 工場内に Z ペラ生産設備を導入、生産を開始しました。
- 2008 年 1 月 橋本社長が IHI エネルギー事業本部長 兼 新潟原動機会長に、馬場常務が新潟原動機社長に就任しました



ガスエンジンAGシリーズ



マリンエンジニアリングオブザイヤー表彰式
橋本社長（現会長）（左）と日本マリンエンジニアリング学会矢吹会長（右）



（株）フェスコパワーステーション群馬
N P S 太田発電所(2006 年 22AG 納入)



ZP-41RP 実装姿



IHI 横浜第 2 工場 Z ペラ生産設備